

山ぼうしは「立志の樹」といわれ、正門脇の「やまぼうし小庭園」には、
『花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし』
の碑（初代PTA会長 盛合聡の揮毫）がある。



山ぼうし - 友愛・協調・責任 -

2014年12月22日 NO.9(12月号)
岩手県立宮古工業高等学校 校報(発行者 校長)

祝 第8回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等 「文部科学大臣表彰」受賞 平成26(2014)年12月15日(月)文部科学省発表

2014 未来への挑戦! リアスのフロンティア ~宮古・下閉伊ものづくり最前線~ 若手技術者に訊く in 宮古工業高校 (2014/11/22)

(参考) 政府のキャリア教育に関する表彰制度 全体像		
キャリア教育推進連携表彰	キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等 文部科学大臣表彰	キャリア教育アワード (経済産業大臣賞)
表彰主旨 ○キャリア教育を行うにあたり、教育界と、地域・産業界との連携のあり方について優れた取組を表彰	○「キャリア教育」の充実発展に尽力し、顕著な功績が認められた教育委員会、学校、PTA団体等を表彰 ○「キャリア教育」の充実発展に尽力し、顕著な功績が認められた教育委員会、学校、PTA団体等	○産業界による教育支援の取組を奨励・普及するため、優れた教育プログラムを実施する企業・団体等を表彰 ○小学校から大学・大学院段階までの子ども・若者向けにキャリア教育に取り組む企業・経済団体等及び 専門的な知識、経験に基づいたキャリア教育プログラムやマッチングサービス等を提供するコーディネーター機関
表彰対象 ○学校を中心に、学校関係者(学校や教育委員会等)と、行政(首長部局等)や地域・社会(NPO法人やPTA団体等)、産業界の関係者(経済団体や企業等)が連携・協働して行う取組の実施主体の団体	○文部科学大臣	○経済産業大臣
表彰者 ○文科省・経産省が共同で設置する審査委員会の委員長	○各都道府県・指定都市教育委員会からの推薦に基づき選定	○経済産業省が設置する審査委員会にて審査
審査方法 ○文科省・経産省が共同で設置する審査委員会にて審査	○キャリア教育の充実に顕著な功績が認められる教育委員会・学校、PTA団体等であること。	○企業の部 ・継続性 ・普及性 ・汎用性 ・企画性 ・キャリア教育としての教育効果
審査基準・推薦基準 ○学校を中心としたキャリア教育推進のための学校関係者や地域・社会や産業界の関係者との連携・協働の在り方が、キャリア教育の普及・啓発に寄与するものであること。		○コーディネーターの部 ・有効性 ・支援実績 ・産学の関係構築への貢献

本校のキャリア教育について

岩手県では、キャリア教育を「児童生徒が自己の在り方・生き方を考え、主体的に進路を選択し、社会人・職業人として自立するための能力を学校教育活動全体で計画的・組織的に育むこと」と定めています。また、「いわてキャリア教育推進検討委員会」は、キャリア教育により育成すべき能力として、「総合生活力」と「人生設計力」を掲げています。前者の構成要素は、「健康・体力」、「豊かな人間性」、「確かな学力」などであり、後者は、「社会を把握する力」、「労働観・職業観」、「将来設計力」等が構成要素となります。岩手県におけるキャリア教育は、小学校段階から高校段階までの12年間を一体のものとして捉えています。特に高校段階においては、インターンシップや奉仕活動等のさまざまな体験的な学習をとおして、社会と職業への理解を一層深め、将来への目的意識を育成し、生徒一人ひとりが、社会人・職業人として自立できるように、「総合生活力」と「人生設計力」をバランス良く育成し、社会的移行の準備を進めることが大切です。

今回、宮古工業高校の教職員一人ひとりの教育活動に対する真摯な取り組み等が評価され、「第8回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰」を受賞するに至ったことは、本校としても大変名誉なことです。今後とも初心を忘れず、常に教育目標に立ち返りながら努力して参りたいと考えています。

祝 進路決定状況

就職状況 内定率：100% (10月31日達成)
進学状況 合格率：100% (11月21日達成)

	就職				計	公務員				計	進学 合格				合計	
	応募者	管内	県内	県外		応募者	警察	自衛隊	計		応募者	大学	専門	各種		計
機械科	17	13	1	3	17	4	0	4	4	1	6	1	4	1	6	28
電気電子科	14	8	1	5	14	1	1	0	1	0	7	4	3	0	7	22
建築設備科	17	11	1	5	17	0	0	0	0	0	6	2	2	2	6	23
計	48	32	3	13	48	5	1	4	5	1	19	7	9	3	19	73

- ①今年度もお陰様で就職内定率100%を早期(10月末)に達成しました。これで7年連続就職内定率100%の達成となります。
- ②本校の特徴は、地元就職率が非常に高いことです。今年度の就業地別内定率で換算すると70.8%の生徒が管内就職となります。
- ③また、進学においても合格率100%を11月末に達成しました。
- ④これは、本校の教育目標でもある、「進路意識の早期育成と進路実現」はもちろんのこと、「地域の復興に向け、保護者、地域から信頼される学校」づくりに全職員が一丸となり取り組んだ成果です。
- ⑤今後とも、キャリア教育をベースに、生徒の職業人・社会人としての自立を目指し、工業高校の特徴である「ものづくり教育」を通して「地元へ愛され、社会に貢献できる宮古工業高校」を目指します。
- ⑥3年生は卒業まで、引き続き基礎・基本の学習に取り組めます。

平成26年11月22日(土)(10時~12時)、本校体育館にて、パネルディスカッションを実施しました。生徒は、「社会人・職業人としての自立」にとって必要な多くのことを学びました。また、事後アンケートの結果も良好でした。パネリストの皆さん本当にありがとうございました。



【図1】パネルディスカッションの様子



【図2】パネリストの若手技術者5名(前列座席)と関係者

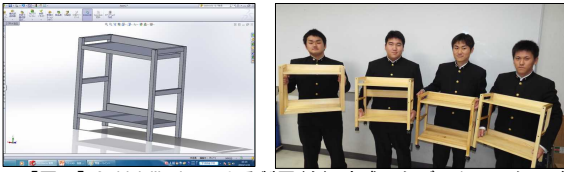
【議事録の一部】

- Q1 仕事を始める前と始めた後、どちらが大変だったか
【湊晴紀さん】 「仕事が始まってからのほうが大変なのは当たり前。コミュニケーション能力が重要な職場なので、高校時代に目上の方ともしっかり話をしていればよかったと感じる。」
- Q2 生徒へのひとこと
【佐々木伸吾さん】 「仕事は大変。働いてお金をもらう以上、それに見合う働きをしなければならない。地元に残って欲しいと周りに言われたとき、やりたいことがあればやってみて欲しい。しかし、宮古で育ったということは忘れず、いつか宮古に戻り、一緒に地元を盛り上げて欲しい。大変なのはどこへ行っても同じことだ。どこかで気を紛らわしながら、仕事を楽しくしてもらいたいと思う。」
【糠盛悠乃さん】 「自分の知らない職種でも、仕事を覚えるうちにやりがいが見つかるはず。不安を感じるだけではなく、期待を持ちながら社会人になって欲しい。」
【信夫貴則さん】 「自分が好きな仕事は楽しくなってくるので、それまで頑張ってください。」
【川目恵美子さん】 「地元に残って欲しいという気持ちはあるが、自分がやりたい仕事は県内にないのなら、一度県外に出ることも良い選択だと思う。そして宮古にもどってその力を発揮するのも良いのではないかと思います。」
【湊晴紀さん】 「大変なのはどの仕事でも同じことだ。先輩から知識や技術を盗んで、力を付けていくことも大切なので、頑張ってください。」

平成 26 年度 校内課題研究実践発表会

2014/11/28(金)

【1】木工製作～Solid works による～



【図3】Solid Worksによる製図(左) 完成したデスク下スタンド

これまで学んできた2D-CADを応用し、立体的なCADを通してものづくりを行うことに興味をもちました。『Solid works』の基本操作を習得し、木工製作にかかわる作図を行い、図面を読み取り、製作を行いました。

【2】スターリングエンジンカーの製作



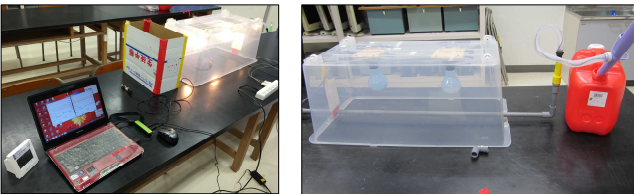
【図4】部品製作から組み立てまで

第18回スターリングテクノロジー大会が埼玉県日本工業大学で11月8日(土)に開催されました。

平成24年度第16回大会に

釜石商工チームが岩手県として初めて参加し3秒00を記録しましたが、今回出場した4台のうち3台が2秒台を出し、最速は2.13秒という好タイムを記録しました。今後は上位入賞を目指し改良に努める予定です。

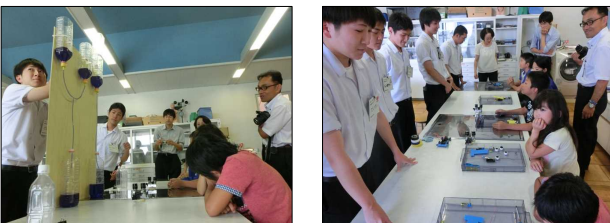
【3】電子技術を野菜栽培に活かす取り組み



【図5】自動電照装置(左)と自動散水装置(右)

本課題研究の目的は、計測制御プログラマーを用いた自動電照装置と自動散水装置の製作を通して、家庭でも気軽に野菜栽培ができるシステムを開発すること。今後も改良を続ける予定です。

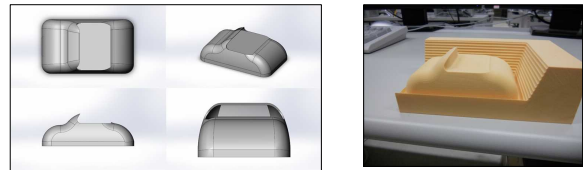
【4】電気の出前授業



【図6】直列つなぎ及び並列つなぎ(左) 電気の働きの活用風景(右)

小学校4年生「電気の働き」について、赤前小学校から、教材作成や指導法に関する要望を聞き取り、同校副校長先生と緊密に連携をとりながら出前授業を行いました。また、電気の働きを活用したものづくりとして、乾電池や光電池などを用いた自動車を製作しました。

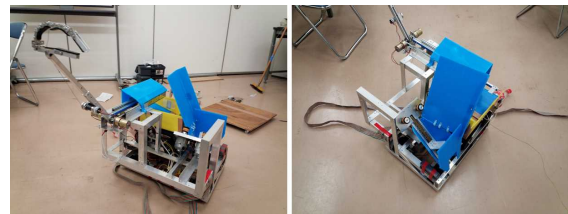
【5】3DCADと3D切削加工機の活用



【図7】Solid Worksによるミニカー(左)と切削加工機による試作(右)

本課題研究の目的は、①3DCADの基本的な技術を身に付けること。②3DCADの特徴を理解すること。③3DCADの設計データを利用すること。④3D切削加工機で試作を行うことの4点です。本年度はこれらの目的を達成したので、今後は本格的な試作品づくりに取り組む予定です。

【6】アイデアロボットの製作



【図8】アイデアロボット「激おこブンブン丸」(左右とも)

本研究の目的は、ロボットの製作を通して、工作機械の操作方法や製作技術を向上させ、全国大会を目標に県大会では上位を目指し課題を探ることです。

建築設備科のロボットは見事全国大会出場を果たしましたが、本機は残念ながら県大会で敗れてしまいました。

祝 TOMODACHI 2015 春休みホームステイプログラムへの難関突破

本校建築設備科2年“長澤 和也”君は、標記プログラムの第1次・第2次審査の難関を見事に突破し、『TOMODACHI2015春休みホームステイプログラム』へ参加することが正式に決まりました。おめでとうございます。参加者は、春休みの2週間、アメリカのワシントンDC近郊(予定)ホストファミリーの一員として日常生活を共にしながら、高校生活をはじめ、さまざまな異文化交流活動に参加します。パスポートの取得、英語力の更なる強化(宮古市の英語による紹介 etc.)等の準備を!!

■プログラムの概要

- ◇派遣先: アメリカ合衆国 ワシントンDC近郊(予定)
- ◇期間: 2015年3月21日(土)～2015年4月4日(土)
- ◇募集: 震災発生時に福島県・岩手県・宮城県に在住しており応募時点で中学校3年生から高校3年生の者
- ◇費用: 主催者全額支給(主催者: 特定非営利活動法人 文際交流協会(BIEE))

祝 第10回ぼうさい甲子園 津波模型班 「ぼうさい大賞」受賞

兵庫県などは12月16日、防災教育や活動に取り組む学校や団体を表彰する第10回「ぼうさい甲子園(1・17防災未来賞)」の選考結果を発表しました。応募した131団体のうち29団体が受賞。ぼうさい大賞の小学生の部は、4～6年生が「防災隊」をつくり地域の防災活動に参加する愛知県半田市立亀崎小が受賞しました。高校生の部では、地域ごとの模型を製作し津波被害の実演100回を達成した岩手県立宮古工業高校機械科津波模型班が選ばれました。おめでとうございます。

また、他教科と関連つけた防災学習「新庄地震学」を実施する和歌山県田辺市立新庄中が最優秀のグランプリを受賞しました。

表彰式は、平成27年1月11日(日)、神戸市中央区の県公館で行われる予定です。